

令和3年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 80
千葉県立佐倉西高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

基本的な生活習慣が身につけており、高校生活全般について積極的に取り組む意志を持ち、かつ次のア又はイの要件を満たす者。

ア 本校入学後も学習に積極的に取り組み、自己の進路実現に向けひたむきに努力できる。

イ 中学校において部活動・生徒会活動・ボランティア活動等に真剣かつ継続的に取り組み、本校入学後もそれを継続する強い意志がある。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査 (自己表現)	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による1分間の自己アピール及びその内容に関する質疑応答 実施形態：個人で発表 検査時間：3分 イ 実技による自己表現 実施形態：個人で発表(ただし、団体種目は、複数人数で実施) 次の実技のうち1つを選択 (男)野球・サッカー、(女)バレーボール (男女)卓球・陸上・バスケットボール・ソフトテニス・レスリング バドミントン・剣道 検査時間：20分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔155点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=1を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	中学3年間で欠席が9日以内の場合は加点(上限20点)する。 欠席が3年間で50日以上又は各学年で30日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が2つ以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び特 記事項	生徒会活動、ボランティア活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述及び取得資格等で顕著なものについては、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査(自己表現)〔100点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(特に優れている)・b(優れている)・c(標準的である)・d(やや問題がある)・e(問題がある)の5段階で評価する。

aを10点、bを7点、cを5点、dを3点、eを1点とし、2名の評価者の評価(各50点満点)を合計し、得点化する。評価eが1つでもある場合は、審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現（日本語による自己アピール）

評価項目	評価基準
(ア) 身だしなみ	検査に臨む心構えと身だしなみができている。
(イ) 態度	礼儀作法や話す態度、聞く態度ができている。
(ウ) 発表の技能	発表における基礎的スキルが身につけており、分かりやすく発表を行うことができる。
(エ) 発表内容	発表内容が整理されており、まとまっている。
(オ) 答え方	質問に対して、適切に回答することができる。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 身だしなみ	当該種目に臨む心構えと身だしなみができている。
(イ) 意欲・態度	意欲を持って取り組む姿勢が見られ、その態度も優れている。
(ウ) 基本的スキル	当該種目における基本的なスキルを身につけている。
(エ) 専門能力・専門技術	当該種目における専門的な能力や技術を身につけている。
(オ) 将来性	当該種目において将来にわたる活躍が期待できる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（自己表現）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝1）	加点	自己表現	
500点	135点	20点	100点	755点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面接を行う。